

西日本支店長会 Branch

2020.12 No.451

Branch
西日本支店長会

2020年12月 No.451

西日本支店長会事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内
TEL 092(711)5190 FAX 092(711)5199 e-mail: shitenchokai@nishinippon-np.jp

「イルミネーション点灯」 撮影:清水 邦夫(福岡市在住)

会員異動 (50音順)



アサヒ飲料(株)
九州支社長
橋本 浩一氏(滋賀県出身)



(株)梓設計
執行役員九州支社長
渡邊 誠氏(東京都出身)



月桂冠(株)
九州営業部 部長
田中 寿一氏(滋賀県出身)



(株)商工組合中央金庫
福岡支店長
三浦 玲氏(大阪府出身)



ホテルモントレ(株)
取締役総支配人
鈴木 順一氏(神奈川県出身)



三井住友トラスト・
パナソニックファイナンス(株)
九州支店長
肥沼 良和氏(神奈川県出身)

新入会員 (50音順)



(株)MJテクノロジー
取締役九州支店長
高柳 健一氏(鹿児島県出身)



スカイマーク(株)
福岡空港支店長
一ツ木 雅之氏(神奈川県出身)



(株)ロジネットジャパン九州
代表取締役社長
蝶名林 和久氏(北海道出身)

暴力団、その現状と課題



公益財団法人福岡県暴力追放運動推進センター専務理事
藪 正孝氏

社会の中にしっかり根を張っている暴力団。西日本支店長会9月例会は、「暴力団、その現状と課題」と題し、公益財団法人福岡県暴力追放運動推進センター専務理事の藪正孝氏が講演。福岡県警の警察官として工藤會と向き合ったことなどを語りました。「暴力団壊滅は、道半ば。しかし、それは不可能ではない」と壊滅に向けての活動を続けています。

(講演日:2020年9月28日)

唯一の特定危険指定暴力団

福岡県警のOBです。主に刑事部、暴力団対策をしていました。平成15年春から足掛け10年、工藤會を担当していましたが、その当時はやらねばなしの状態で、工藤會による襲撃事件が多発していました。現在は県警が工藤會のトップのほか、主要幹部を逮捕し、おとなしくなっています。

事業者襲撃等事件というのは、暴力団やえせ同和とかが、事業者や従業員の皆さんに対して、傷害、殺人、拳銃を打ち込む、放火する、爆弾を投げ込むといった事件です。平成25年度警察白書の事業者襲撃等事件は福岡県が断トツの57件。次が佐賀、東京です。福岡県では工藤會が大半をやっています。

最近まで北九州市は「修羅の街」「暴力の街」と呼ばれ続けていました。9年前の県警のホームページには、「手りゅう弾に注意」が掲載されました。このような注意をした県警は、福岡だけです。当時は暴力団による手りゅう弾を使った事件、あるいは襲撃事件などが多発していました。

工藤會は昭和21年ごろにできました。昭和30年代に山口組との抗争事件があり、そのときに最高幹部の草野高明が工藤會から分れました。草野は昭和52年に殺人の

年生まれて、梶原さんよりも遥かに格下なのです。

私、平成15年3月から工藤會の取締りを担当。対策室の副室長、現場の責任者でした。同年8月18日、小倉北区紺屋町のクラブに手りゅう弾が投げ込まれました。亡くなった方はいみせんでしたが、12名の方が重軽傷でした。当時としては珍しく暴力団排除を表明していたからです。

梶原さんの親族や息子さんは、ちゃんとした港湾工事の事業をされていました。平成9年には何回も脅しが入っています。梶原さんは蹴っ飛ばした。どうなったか？殺されたのです。この事件では、平成14年までに実行犯が3人と指示役である若頭の田上不美夫を検挙しました。田上は現在の5代目工藤會の会長です。田上は証拠不十分で不起訴になりました。

私は、平成15年3月から工藤會の取締りを担当。対策室の副室長、現場の責任者でした。同年8月18日、小倉北区紺屋町のクラブに手りゅう弾が投げ込まれました。亡くなった方はいみせんでしたが、12名の方が重軽傷でした。当時としては珍しく暴力団排除を表明していたからです。

卑劣な襲撃事件が多発

梶原さんが殺害された後も、襲撃事件が続きました。平成25年の漁協組合長の上野忠義さんは、梶原さんの弟です。工藤會との関係を絶とうとして動かれていました。さらに梶原さんの孫である歯科医師、梶原さんの長男が経営している会社の元女性従業員までやられました。梶原さんがやられましたので保護対策はしていましたが、関係のない孫や元女性従業員までやられたのです。

平成26年9月17日に、県警が梶原國弘さんの事件で、野村と田上を捕まえた後、幹部を次々と検挙。これにより工藤會による襲撃事件が激減したのです。来年1月に求

刑を終えて出所。北九州を縄張りにしていた関係で激しい抗争をやりました。結果から言えば、草野一家の方が工藤會を圧倒する形で、大同団結して工藤連合草野一家になり、北九州は工藤會一色になりました。県警はブロック取締本部をつくり、現在まで100名以上の専従体制で工藤會対策をやってきました。

できました。そうすると工藤會が連続発砲を16件やりました。パチンコ店、ホテル、銀行、八幡西区役所の出張所、フェリーの待合室、さらに県警本部前のレストランに拳銃が撃ち込まれました。検挙はしましたけど、工藤會は何をするか分からないという恐怖を植え付けたのがこの一連の事件です。

だが工藤會は、この年にみかじめ料(用心棒代)を断ったヘルセンターに農業をばらまきました。さらには、何の関係もない福岡市にある中国領事館に猟銃をぶち込みました。県警の元警部の自宅を全焼させる事件も発生。

北九州の事業者に恐怖を植え付けたのが、平成10年2月に起こった、元漁協組合長の梶原國弘さん射殺事件。小倉北区の繁華街のど真ん中での事件です。その前年にも梶原さんの弟さんの自宅や関係企業に拳銃が撃ち込まれる事件が発生しました。梶原さんは、元山口組梶原組の組長でした。昭和30年代に工藤會ではない地元暴力団と抗争をやり、結果的には引退して若松の漁協組合長になり、北九州の港湾工事に非常に大きな影響力を持っていました。

平成2年に、2代目工藤連合草野一家になりました。総長は溝下秀男。草野一家極政会の総長で絶対です。ナンバー2の若頭が野村悟。現在の工藤會総裁です。その中で「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(暴対法)ができ、工藤會は指定暴力団に指定されました。平成5年には、北九州にあったほかの暴力団は全部工藤會に入りました。

工藤會の草野高明とは兄弟分と言ってもいいくらいの関係です。だから県警は梶原さんを何回も捕まえました。結果的には背任で懲役2年となり、平成9年まで服役。仲の良かった草野が亡くなりまして。溝下と野村、2人とも昭和21

事業者の皆さんの中には工藤會との関係を絶とうという動きが出

た。溝下と野村、2人とも昭和21

工藤會の構成員と準構成員のピークは平成20年末で730人。昨年末は260人。3分の1ぐらいになっています。福岡県は平成19年がピークで2490人。現在は970人です。全国では暴対法が施行された平成3年がピークでした。昨年は1万4400人で、ものすごく減っています。

暴対法が施行後は、暴力団員が減り準構成員が増え、合わせた数は横ばいが続いていました。平成22年に条例が施行になり急激に減っています。

警察が統計を取り始めた昭和33年以降では、昭和38年末に全国で18万4千人。当時の警察官が全国で13万7千人。警察官より多かったのです。当時は暴力団の抗争や市民への暴力事件を起こしていま

減り続けている暴力団員

特定危険指定暴力団に指定され、工藤會の本部事務所は使えませんが、使えないなら売ってしまえとなり、暴追センターが一旦購入し、福岡市の企業に売却しました。ここにはNPO法人が施設を造る予定になっています。

当時の福岡県の麻生知事、北九州市の北橋市長、地元の経済界からも声が上がり、さらなる工藤會を切るようになりましたが、工藤會は見通すわけがない。元請けや発注者への襲撃が多発しました。清水建設は何回もやられました。最後のころには、小倉の現場事務所

多くの企業が工藤會との関係を切るようになりましたが、工藤會は見過ごすわけがない。元請けや発注者への襲撃が多発しました。清水建設は何回もやられました。最後のころには、小倉の現場事務所

解体が5%を工藤會に上納するシステムが出来上がっていました。工藤會関係企業のほとんどを何らかの事件で摘発しました。結果的には、数社は廃業に追い込まれました。そうしたら、工藤會は命を取るけども、警察に桶突いたら会社を潰されるというような声が聞こえてきました。

対策として特別捜査室、実質は工藤會對策課を設けました。翌平成21年1月に正式に暴力団対策室をつくり、4課を二つに分けました。私は、北九州市暴力団特別対策室、要は工藤會對策課の課長として勤務しました。

福岡県の暴力団排除条例（暴排条例）が平成22年4月に施行になりました。総合的な条例は福岡が初めてです。ギリシャ神話でパンドラの箱があります。工藤會はトヨタでやり過ぎたというのが実感です。

工藤會が暴走したのは、平成20年に溝下が亡くなったのが大きいと思います。現在の5代目工藤會のトップ3は、溝下が存命中は総裁の野村も会長の田上も、溝下の前では正座でした。だけど溝下が亡くなった。野村は3代目田中組長。田上は4代目、今の理事長の菊池啓吾が5代目です。野村の1の自分が田上、その1の自分が菊池。ですから野村に盾を付くことは考えることもできない。これが今の工藤會です。

小倉南区の貫というのどかな地区に、野村と親交があった会社社長

した。頂上作戦を繰り返したり、一定の効果は出ていましたが限界があります。暴力団は馬鹿ではありません。学んでいます。結果的に昭和50年代になると表の経済にも進出してきました。さらには一般市民を巻き添えにするような卑劣な事件を繰り返しました。それでできたのが暴対法です。取引先、あるいはお客さんが暴力団ということがあるかもしれせん。そういう場合は、暴追センターや警察を利用してください。今はお礼参りを考える必要はありません。

福岡から暴力団ゼロを

最後に壊滅に向けてです。工藤會が壊滅するのか。ほかの暴力団が壊滅するのか。全国はどうなのか。私は道半ばと思っています。

最大の原因は、国民の意識ではないかと感じています。例えば「工藤會は悪いわね。でも中にはいいやつもあるね」と言われたら、なんとなくそんな気になる方がまだ多いのではないかと。

暴力団は社会のセーフティネットではありません。9年前に

村が買ったことは把握していません。3月に突然看板掲げたのです。目の前が幼稚園で、100坪ほど離れた所に貫小学校があります。暴排条例施行後なら条例違反ですが、これは施行前なので手出しができません。地域住民の方たちが立ち上がり、事務所撤去運動が自然発生的に発生しました。

まだやるなと思っていたら、暴追パレードに参加された自治連合会会長の自宅に拳銃が6発撃ち込まれました。北橋市長が熱心に暴追運動を支援。そうしたら市長に脅迫状が届きました。それでも市民は屈しませんでした。翌年、工藤會は医療法人に売却して、今は老人ホームになっています。その後も襲撃事件が繰り返され、11月には小倉北区で建設会社の会長が撃たれ亡くなりました。

ひどかったのが平成25年です。中間市で工藤會との関係を切ろうとしていた建設会社の社長が撃たれ大けがをしました。4月には、元警部から朝7時ごろに携帯に電話がありました。すでに引退し、第2の職場に勤めていました。「副部長、やられました」と救急車の中からの電話でした。この元

産経新聞が山口組組長の篠田建市にインタビューしました。記者が「解散することを考えていませんか」と質問すると、「解散したら、うちの枠を外れるから悪いことをやる。窃盗とか強盗が増える」と答えています。

では、どうか。暴力団勢力と刑法犯の認知件数の推移です。刑法犯とは、窃盗や詐欺、強盗、殺人です。ピークは平成14年でした。それ以降、犯罪が急激に減っています。暴力団員も減っていますが、犯罪は増えていません。

今、非常に気になっていますのが、違法薬物です。特に、大麻と覚せい剤です。大麻は決して安全な薬物ではありません。許しがたいのは覚せい剤です。暴力団はよく関与を強めていると思われます。昨年の覚せい剤の押収量は過去最高の2・65トです。

これからは私の個人的な希望です。まず「暴力団への課税制度」です。米国やイタリア、ドイツ、フランスでは、組織犯罪については財産のみなし制度があります。次が「協議・合議制度」。日本版司法取引制度です。世界標準の協議合議制度を活用してほしいと思

警部は特命班ということで工藤會などの情報収集をしてもらったことが原因です。

8月1日に暴排標章の掲示が始まりました。これを貼った店に暴力団員が入ったら中止命令で逮捕するのが標章制度です。北九州では8割近くのお店が貼ってくれました。そうすると、放火事件がありました。さらには経営者の方が次々と刃物で刺される事件が発生。許しがたいのは、3件の事件の被害者はいずれも女性です。工藤會の組員が顔に切り付けたのです。倒れたところを、腰とか腹を何回も刺した。そういう卑劣な事件です。結果的には5割弱まで標章を貼った店が減りました。

工藤會對策がここまで進んだのは、警察の力だけではなくて福岡県や北九州市などの行政、さらには市民の方が勇気を持つて立ち上がったのが大きい。これは、工藤會にとつて想定外でしょう。

焦りですね。これが襲撃事件が多発した要因ではないかと思えます。窮鼠猫を嘯む。追い詰められた鼠は猫を嘯む。暴力団はただの鼠ではなくて狼集団です。最後は暴力に訴えます。

います。そして「法的保護制度」。福岡県警では保護対策室をつくり、保護対策室が24時間体制で保護しています。法的な制度は日本にはありません。これもぜひつくっていただきたい。

暴力団壊滅はどうなるのか。道半ばですが、決して不可能ではありません。皆さまの支援もあり、ようやく福岡はここまでくることができました。引き続き協力いただき、福岡から暴力団ゼロを目指したいと思っています。

やぶまさたか 正孝

1956年、北九州市戸畑区生まれ。福岡県警察官を拝命後、主に刑事部門、特に暴力団対策部門に携わる。2016年2月、地域部長を最後に定年退職。同年4月から福岡県暴力追放運動推進センター専務理事を務める。19年に暴力団に関するより正確な情報を発信するため暴追ネット福岡を開設。

いろんな所に合成洗剤を販売していたとき、国鉄の門司鉄道管理局から「おたくの洗剤で車体を洗っているけどさびやすい。JIS規格に無添加剤（無添加）の粉石けんがあるから、おたくで作ってくださいませんか」と依頼がありました。

転機は国鉄からの依頼

そのころ父に悩みが出てきました。首やベルト回りに湿疹がでるのです。薬を塗っても良くならない。仕方がないと諦めていたそうです。

父は洗濯機が売れていくのを見て、これからは石けんではなく、合成洗剤の時代が来ると思い、他社よりいち早く合成洗剤の取り扱いを始めたのです。「ニュー洗剤デラックス」はよく売れました。当時、父は30代前半。業績は上向きで社員が100人ぐらいいなりました。

昔の石けんは、純度が高くありません。不純物が多かったり、作りにやすくするために助剤を入れていました。技術的には無添加の石けんは難しかったのです。相手が超大口の得意先である国鉄ですから、父は「やります」と返事。長崎県佐世保の工場に製造委託をしていたので、そこに出向き技術者と試行錯誤しながら、JIS規格を上回る無添加石けんの試作品を作ることができました。できた試作品を自分自身が使ってみると、十年来自分の体を悩ませていた湿疹が1週間ほどで良くなったのです。また自分の所で扱っていた合成洗剤を使うと、わずかに1日で湿疹が出たのです。そこで初めて、自分の肌を悩ませていたのは、自分のところの商品が原因ではないかと気付きました。自分自身で石けんが良いことが分かり、石けんが売れるのではないかと思い、小倉の街中でアンケータ用紙にはがきを付けてサンプリングをしました。そうすると、うれしい反応が返ってきます。気をよくして商品見本を作ってスーパーや薬局に持っていくのですが、時代は1970年代。

化学物質は生活を豊かにしてくれる新しい画期的な商品として合成洗剤も世の中に受け入れられていた時代です。「今さら、石けんは売れないから要らないよ」と、バイヤーから言われたそうです。どんなに物に自信があっても、流通に乗らないことには商売になりません。父はしぶしぶ諦めて、会社では合成洗剤を売り、わが家では無添加の石けんを使う生活をしばらくしていました。父は43歳のときに体調を崩し、医師から「死んでしまうぞ」と言われ入院しました。病院のベッドの中で、「人間はいつかは死ぬ。人生は一度きりではないか。それならば、本当に自分が正しいと思うもの、自分のやりたいことをやるべきだ」と考えました。退院したその足で会社に行き、従業員を集めて、「うちがこれから無添加製品一本でやる」と宣言。1974年の出来事です。当然、従業員は大反対ですが、オーナー企業の一存で切り替えました。合成洗剤の売り上げは月8000万円。切り替えた翌月の売り上げは、たったの78万円。

既存のブランドがあつて、新規ブランドを立ち上げて、どっちも売りながら、うまくいきそうだったら切り替える。駄目だったら撤退し軌道修正するのが一般的な考えです。父の中では、悪いと分かっていた商品は売るわけにはいかんという強い思いの一存で、完全にゼロにして無添加石けん一本に切り替えたのです。石けんは体にも環境にもやさしい。こんないい商品が売れないはずがないと思っていたそうです。5年もすれば売れるようになると思っていたのですが、17年間赤字が続きました。100人いた従業員は「社長は頭がおかしくなったぞ」ということで次々に辞めました。一番少ないときが5人でした。さすがに人が育たないと会社は成長できません。即戦力となる中途採用をしながら、新卒の大学生採用を同時に行いました。「うちがこういういい商品を作っている」。そういった思いを伝え、何名か入ってくれました。新卒1期生のうち、1名だけ残り今は役員として頑

黒字になったのは18年目

健康な体ときれいな水を守る ～創業110年シャボン玉石けんの挑戦～



シャボン玉石けん株式会社
代表取締役社長
森田 隼人氏

新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりの中で、予防法の一つとして石けんによる手洗いが推奨されています。西日本支店長会10月例会は、シャボン玉石けん株式会社代表取締役社長の森田隼人氏が講師。「健康な体ときれいな水を守る～創業110年シャボン玉石けんの挑戦～」と題して、会社の歴史に触れながら、父の光徳氏が無添加石けんに取り組んだ理由や、石けんと合成洗剤の違いなどについて語りました。（講演日:2020年10月29日）

石けんは1万年前から

シャボン玉石けんは、福岡県北九州市で製造した無添加の石けんを、全国、そして海外でも販売している会社です。まず、皆さんにクイズです。石けんはいつごろからあるのでしょうか。①500年前、②1000年前、③1万年前。正解は③の1万年前です。動物を仕留めていけにえにしたり、食べたりすると、脂が滴り落ちます。その脂とアルカリ成分である木の灰が混ざって石けんができたのです。今から5000年前のシュメールの粘土板には、石けんの製法が書かれています。石けんの作り方は、基本的には昔も今も変わっていません。天然の脂とアルカリを反応させて作ります。自然発生のにできたもので、川や海に流れても簡単に分解されます。長い間、人が使っていますので、体に対する安全性も実証済みです。脂は食用にしますので、石油で代替品が作れないかとドイツで開発されたのが合成洗剤。日本に入っ

てきたのは戦後です。石けんが1万年ほどの歴史があるのに対して、合成洗剤を思いだして70年ほど。環境は汚染され続けていますし、肌荒れやアトピーに悩む人たちは増えている状況です。シャボン玉石けんの理念は「健康な体ときれいな水を守る」。固形の石けんばかりでなく、シャンプーや歯磨き粉などを製造しています。本社工場は北九州市若松区にあり、そこで全製品を作っています。おかげさまで今年で創業110周年ですが、創業当時から無添加の石けんを作っていたではありません。1910年、私の祖父が若松で森田範次郎商店を創業。当時の若松は石炭の積み出し港として栄えていました。祖父は日用品全般を扱う小売り雑貨商を始めたのです。石炭を運ぶ人も多く、その人たちは体が汚れるので石けんを使います。いろんな日用品を扱う中で、石けんや洗剤に特化していききました。販売代理店、特約店と転身していったのです。戦争が終わって、私の父・光徳の代となりました。石炭景気は

張ってくれています。石けんの良さを広めていくなかで、長い赤字の間も売り上げは少しずつ伸びていました。

とはいえ十数年続く赤字。会社が潰れなかったのは、合成洗剤を扱っていたときにしこたま儲かり蓄えがあったからです。それに加えリストラをすることなく社員が辞めたからです。しかし、十数年も続くと蓄えも少なくなるし、金融機関はなかなか首を縦に振ってくれません。

石けんの良さには自信があるが、それを伝えるお金もないことから、いろんな人の知恵を借りながら父が出した答えは本を出すこと。『自然流「せっけん」読本』を1991年に出版し、ベストセラーになりました。この本が起死回生となり、翌92年、18年目にして初の黒字になったのです。

この本は、石けんや合成洗剤について詳しく書いて、巻末には全国の石けんを作っている会社の社名、住所、電話番号を載せました。本を読んで「シャボン玉石けん」を使ってみたいと思っても、近所の店には置いていないかもしれない。全国に石けんを作っている会社が

仕上がり具合の微調整をします。当然コストはかかりますが、無添加で使用感のいい石けんにするために、製法にこだわっているのです。技術の分野で世界一の石けんメーカーを目指したい、石けんと合成洗剤は違うものとして認識されるようにしていきたい、というのが会社のビジョンです。

新聞広告を使って情報発信しています。97年に「消費者のためになった広告コンクール」で銀賞。石けんや洗剤を買うときに何を基準にしますか。合成洗剤で顔や手を洗わないのはなぜでしょう。あなたの周りにアトピーで苦しんでいる人はいませんかというものです。洗濯関係では、肌ケア洗濯という訴求をしています。顔や体を洗うのは一日の中でほんの短い時間。衣類は一日23時間以上身に付けています。衣類の中にも洗剤の成分はどうしても残りますので、汗をかいたときに、成分が皮膚に浸透し肌荒れの原因になります。日本アトピー協会から推薦をいただいています。

歯磨き粉も作っています。一日に2回も3回も口の中に入れるものなので、安全基準で選びませんか。

あるので、合成洗剤ではない石けんを使つてほしい。それが当社の理念に一步でも近づくという思いがあったのです。

17年間、会社を潰さなかった理由があります。お客さまからの手紙です。あまり売れない中でも、「寝ている間に子どもが体をかきむしっていたのに、石けんにしただけでこんなに変わるのですね」といったうれしいお便りが届くのです。無添加石けんを広げるのが俺の使命だという思いが強くなったでしょう。

時代背景もあります。91年、92年は湾岸戦争がありました。油まみれの水鳥の映像などが盛んに流されました。70年代や80年代の環境活動は一部の人が熱心に取り組んでいましたが、90年代はほぼすべての皆さんが環境を意識しました。そういった背景もあり、黒字化ができたのです。

さらに、99年に「週刊金曜日」からの『買つてはいけない』という本が出て超ベストセラーになりました。この商品にはこの成分が入っているから買わない方がいいと書いていて、逆にシャボン玉石けんは買つていいものとして紹介されたのです。

菌磨き粉を食品と考えるというようなコピーで「消費者のためになった広告コンクール」で金賞をいただきました。

一昨年、「香害を知ってください」という新聞広告が反響を呼びました。柔軟仕上げ剤やシャンプーなどに含まれる合成香料によって体調不良を起こす人が増えていきます。シックハウス症候群と同じと考えてください。体調不良を起こすのです。意見広告として、友人らの服の柔軟剤の香りに苦しむ北海道の小学生の直筆の手紙を掲載しました。蓋を開けてみるとSNS上でいわゆるバズって、ヤフーニュースのトップになりました。非常に好意的に受け入れられました。日本新聞協会新聞広告賞をいただきました。

感染対策の基本は手洗い

石けん会社ですが、消火剤も作っています。諸外国に目を向けると少ない水でどうやって火を消すかという発想が必要になります。日本で最初に北九州市消防局がアメリカの消火剤を輸入して実験しました。火は早く消えるが、消し

たのです。坂本龍一さんがオペラをされるときに、「共生」をテーマにされ、環境を汚す企業はスポンサーにつけたくないという意向があつて、坂本さんから逆指名のような形でうちに協賛してくれませんかという話がありました。

会社の業績は順調に推移しています。私の中では創業110周年の社長に加え、無添加石けんに切り替えての2代目社長という意識がすごくあります。

石けんと合成洗剤は別物

石けんと合成洗剤の違いが分かってにくい面があります。良い悪いではなく、別物だということ。例えばバターとマーガリン。これも似て非なるものです。用途として似ていますが、中身は全く別物です。

「本当に安全、合成洗剤」という映像を見てもらいます。アジを使つての石けんと合成洗剤の毒性比較です。どちらも濃度は100ppm。水に対して1万分の1の比率で、普段私たちが使っている濃度よりも、3倍から4倍に薄めたものです。合成洗剤を入れてか

た後も泡が消えません。消火剤は合成界面活性剤を使つたものです。北九州市は環境問題に力を入れていますので、地元シャボン玉石けんがあるからそこで作ってもらおうとなり、依頼がありました。

「うちは石けん屋なので消火剤とはなんですか」ということからスタートしました。石けんを含ませて水の表面張力を下げてぬれる面積を増やすことで消火に結び付けるものです。途中から北九州市立大学にも入ってもらい、産官学の取り組みとなりました。2001年にプロジェクトがスタートし、07年によく世界初となる環境にやさしい消火剤が完成しました。

中小企業は人材に限りがあることから、大学と連携して研究しています。09年に立ち上げたのが、感染症対策研究センター。これは箱物ではなく、広島大学や産業医科大学、北九州市立大学などの先生方とのネットワークで、「手洗い石けんバブルガード」を開発。医療や介護の現場では院内感染を起こしたくないから、手洗い剤を一日に30回も40回も使うと手が荒れてしまうのです。この「バブルガー

ド」は消火剤のノウハウを生かしながら、開発したもので手が荒れません。

コロナ禍の中で消費者の安全志向は高まっています。感染対策の基本は手洗いです。シャボン玉石けんのハンドソープによる感染予防は、健康を守ることにつながることをあらためて感じています。

合成洗剤は、自分自身だけでなく、環境を汚してしまう。環境というのは後の世代に影響が及びます。消費者の方には石けんの良さ、合成洗剤との違いを伝えていくのが今後の課題です。

もりた はやと
森田 隼人

1976年8月、北九州市生まれ。2000年3月に専修大学を卒業し、4月にシャボン玉石けん株式会社入社。翌01年4月、取締役就任。02年1月、取締役副社長就任。07年3月代表取締役就任。座右の銘は「好信楽」。

ら3分後、アジは死んでしまいました。直接の死因は合成界面活性剤によって酸素を取り入れるエラの細胞が破壊されたからです。口の周りには内出血を起こしています。これは体の表面から合成界面活性剤が浸透した証拠です。石けん水にいるアジは、石けんのかすを食べて生きています。

合成洗剤は食器洗いや洗濯と違いがちです。シャンプーやボディソープなどのほとんどが合成洗剤です。ソープは石けんという意味ですが、中身は合成洗剤です。合成洗剤は合成界面活性剤という洗浄成分を入れたもので、石けんは天然の界面活性剤です。

日本の法規上では、あれもこれも入っている、でも着色料は入っていない。これでも無添加と表示できるのです。私どもの無添加とは、余分なものは一切入っていないものです。無添加では伝わりにくいので、食品以外で無添加を使つたのは当社が初めてです。

石けんは4、5時間あれば作れます。当社は昔ながらの製法にこだわりの、大きな窯で1週間炊き込んで作っています。最終的にどろどろの状態の石けんを職人がなめて

第10回 県外視察研修【宮崎県】

福岡空港からあつという間の40分。宮崎ブーゲンビリア空港に降り立った途端、輝く太陽と紺碧の海、南国情緒漂う風景が広がっています。今回は、総勢19名で宮崎県庁お薦めスポットを2日間かけて巡りました。



餌肥杉の発酵の様子



餌肥杉の原料

ウザメは見た目では雄雌の区別がつかず、一匹ずつ開腹して性別を確認後また閉じて育て、卵が採れるまでに9年かかるそうです。同社は約3000匹のチョウザメを専用の餌で水質や気温などに気を配りながら大切に育てています。



河野俊嗣知事

はじめに、県庁防災庁舎災害対策本部会議室を見学させ

宮崎県庁



チョウザメの燻製



チョウザメの養殖場

も人気食品になっているそうです。



災害対策本部会議室

ていただきました。宮崎県内の防災、災害対策の中核機能を持ち、情報収集、分析、対策の立案や災害に対する総合的な対応や業務を担う近未来的な雰囲気がある空間です。その後、河野俊嗣知事に宮崎県の政策ビジョンについて語っていただきました。



種に氷河期を疑似体験させる「凍結解凍覚醒法」という日本国内でも稀有な方法で栽培されたバナナは、寒さに強く甘みも強いものに育つそうです。害虫の駆除はすべて手作業、気温、湿度、CO2濃

度はIT化によって厳密に管理されています。お土産に頂いたバナナはクリーミーでふんわりした優しい甘さでした。

株式会社ミヤチク 都農工場(都農町)

宮崎県は日本を代表する畜産県です。ミヤチクは、牛豚の加工を行っており国内のみならず世界に輸出しています。実際の映像を見ながら、徹底した衛生管理のもと、国によって異なる輸出基準に合わせるため加工に様々な工夫を凝らしていることなどについて説明をしていただきました。

2日間、お天気にも恵まれ、宮崎県の豊かさを改めて実感する研修を無事に終えることができました。今回の研修内容を作成していただくにあたり大変お世話になりました宮崎県福岡事務所・児玉所長はじめ県庁の皆さま、近畿日本ツーリスト九州・藤本支店長、山口主任に心より御礼申し上げます。

◇10月14日(水)

大生黒潮発電所(串間市)

宮崎市から美しい日南海岸の景色を見ながら南へ進み、くしま木質バイオマス株式会社・大生黒潮発電所へ。同社の堀口社長から地元の森林資源を有効活用した地域活性化事業について説明いただいた後、バイオマス発電の燃料となるペレットを製造する工場を案内していただきました。



堀口社長



ペレット

た小型ペレットガス化バイオマス発電所としては日本初。発電で派生した熱をペレット工場側で有効利用する仕組みで、ペレット製造から発電までのプロセスをパッケージした発電所は、全国展開も可能なビジネスモデルで、様々な企業から視察依頼が入っているそうです。

井上酒造(日南市)

井上酒造は、創業125年を超える伝統の焼酎蔵で、日本で初めての減圧蒸留100%の芋焼酎の製造を開始しました。かつて種田山頭火が「こんなうまい水がふれている」と詠んだ句碑もあり、宮崎の名水21選に選定された湧水は、芋焼酎「餌肥杉」だけでなく国内産キャビアも生み出しています。チョ